

**栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)**  
**【単独・連携事業】**

市町名	鹿沼市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	南押原地区アイデア会議	総事業費	900,000	300,000	300,000	300,000	300,000	2,100,000
		うち市町支出額	348,000	0	0	0	0	348,000
		うち県交付金	174,000	0	0	0	0	174,000
2	東大芦地区アイデア会議	総事業費	1,600,000	800,000	800,000	800,000	800,000	4,800,000
		うち市町支出額	600,000	0	0	0	0	600,000
		うち県交付金	300,000	0	0	0	0	300,000
3	かぬまぐらしのガイド多言語動画作成事業	総事業費	280,000	150,000	30,000	30,000	30,000	520,000
		うち市町支出額	250,000	0	0	0	0	250,000
		うち県交付金	125,000	0	0	0	0	125,000
4	誰もが生きいき！支えあい推進事業	総事業費	260,000	200,000	200,000	200,000	200,000	1,060,000
		うち市町支出額	250,000	0	0	0	0	250,000
		うち県交付金	125,000	0	0	0	0	
5	ZOMarket開催事業	総事業費	330,000	200,000	200,000	200,000	200,000	1,130,000
		うち市町支出額	150,000	0	0	0	0	150,000
		うち県交付金	75,000	0	0	0	0	75,000
6	地域デビューのためのママ講座	総事業費	180,000	30,000	30,000	30,000	30,000	300,000
		うち市町支出額	150,000	0	0	0	0	150,000
		うち県交付金	75,000	0	0	0	0	75,000
7	鹿沼秋祭り・鹿沼城研究とまちづくり事業	総事業費	355,000	50,000	50,000	50,000	50,000	555,000
		うち市町支出額	200,000	0	0	0	0	200,000
		うち県交付金	100,000	0	0	0	0	100,000
8	鹿沼秋まつり事業	総事業費	16,750,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	68,750,000
		うち市町支出額	6,570,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	18,570,000
		うち県交付金	3,000,000	0	0		0	3,000,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	20,655,000	14,730,000	14,610,000	14,610,000	14,610,000	79,215,000
		うち市町支出額	8,518,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	20,518,000
		うち県交付金	3,974,000	0	0	0	0	3,849,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調査書)  
【単事業】

市町名	鹿沼市
事業名	南押原地区アイデア会議事業
事業主体の名称	南押原地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	鈴木 節也
事業主体の所在	鹿沼市榎木町1079-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:当協議会は南押原地区の住民が自主的に、互いに助け合い、協力し合って、心豊かな生活を過ごすことができるコミュニティの形成に努め、併せて地域の活性化を図ることを目的とする。(規約より)</p> <p>・設立年月日:平成15年6月1日(南押原地区アイデア会議は平成25年8月5日発足)</p> <p>・構成員等:南押原地区住民4,138人(5月1日現在)(役員:会長1名、副会長3名、会計1名、監事2名、理事若干名)</p> <p>・主な活動:①敬老部会活動(敬老会と青空市の企画実施)②文化部会(文化祭の企画実施)③人材発掘部会(地域の人材登録・活用=各種講座の企画実施)④コミュニティワールドの管理⑤児童生徒安全対策会議・防火防犯診断⑥千葉省三を知る教室の企画開催⑦アイデア会議=地区モデル事業の取り組み</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本地区は、栃木市や壬生町と境を接する鹿沼市の南玄関口にあたり、東武線が走るほか、国道が南北に走り、東北自動車道への連絡も容易なため、交通の要衝となっている。</p> <p>昨年度、榎木駅前駐輪場が整備されたが、観光客の回遊ルートがない。また、少子高齢化が進行しているが、高齢者の独り暮らし世帯への支援体制が整っていない。加えて地域のコミュニティのつながりが希薄になるとともに、地域の魅力に気づかない住民も増加してきている。</p> <p>地区内の活性化を図るためにも、地区内外への地域の魅力をアピールする必要がある。</p>
事業目的	<p>・駐輪場を活用し、地区内を周遊できる体制を整えることにより、地区内における交流人口を拡大する。</p> <p>・地域全体で高齢者を支える意識を高める。</p> <p>・子どもたちに伝統文化を継承し、世代間交流や、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>榎木駅の周辺を整備することにより地域の魅力を向上させるとともに、高齢者に向けた支援のための取組を行う。</p> <p>H28</p> <p>①地区の中心地である榎木駅からコミュニティセンター周辺や小叡川の景観を整備し(小叡川沿いへの史跡看板設置、スイセンと彼岸花の球根植え付け、ウォーキングコース整備等)、誰もが気軽に楽しめる散歩コースを紹介するマップを作成する。成果物は東武日光線各駅や県内公共施設、観光協会に置くことで広く周知する。特に交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等へのPRを行うことで、地区内への交流人口を拡大する。</p> <p>②社会福祉協議会のバスを利用し、「お買いものツアー」として、高齢者等買い物困難者や引きこもりがちな高齢者を支援する。運営は地区住民が中心となったコミュニティ推進協議会(会員4,138人)が中心となることで、高齢者一人一人に丁寧な働きかけが可能となり、地域で高齢者を支える意識の醸成を行う。</p> <p>③子供たちが地元の伝統文化を体験し、世代間・地域間交流を促進するため、地区ふるさと祭り(盆踊り)を開催する。</p> <p>H29、H30</p> <p>①マップを活用しPRをするとともに、遊歩道の草刈り等整備を実施する。</p> <p>②社会福祉協議会のバスを利用し、「お買いものツアー」として、高齢者等買い物困難者や引きこもりがちな高齢者を支援する。運営は地区住民が中心となったコミュニティ推進協議会(会員4,138人)が中心となることで、地域で高齢者を支える意識の醸成を行う。特に自治会単位単位で定期的な実施を計画する。</p> <p>③子供たちが地元の伝統文化を体験し、世代間・地域間交流を促進するため、地区ふるさと祭り(盆踊り)を開催する。コミュニティ推進協議会と自治会が連携して事業を実施することで、自治会活動への理解が深まり自治会加入率の向上につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かなこころを育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件、 高齢者の生活支援(買物支援・移送サービス)件数: 0件(H27年) → 1,800件(H31年までの累計・年間延べ360人×5年) 自治会加入率: 79.2%(H26年) → 80%(H31年) 交流人口: 331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	遊歩道マップの作成 お買いものツアーの開催 ふるさと祭りの開催	マップの活用と整備 お買いものツアーの開催 ふるさと祭りの開催	マップの活用と整備 お買いものツアーの開催 ふるさと祭りの開催		マップの活用と整備 お買いものツアーの開催 ふるさと祭りの開催
事業費	900,000	300,000	300,000	1,500,000	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	348,000	0	0	348,000	0
うち県交付金	174,000	0	0	174,000	
市町支出金 (ハード事業分)		0	0	0	0
うち県交付金		0	0	0	
その他自主財源等	552,000	300,000	300,000	1,152,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimiz@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	南押原地区アイデア会議事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	348,000	内県費174,000円
自己資金	552,000	前年度積立金(523,857円)、コミュニティ活動費、寄付金
計	900,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
8 報償費	72,000	60,000	30,000	12,000	買い物ツアー送迎謝礼 (2,400円×3人×10回)
11 消耗品費	112,000	100,000	50,000	12,000	木材、塗料、事務用品
11 燃料費	21,000	21,000	10,500	0	買い物ツアーガソリン代
11 印刷製本費	77,000	77,000	38,500	0	マップ印刷代
12 通信運搬費	15,000	10,000	5,000	5,000	通知郵送料
12 保険料	22,000	20,000	10,000	2,000	イベント保険
18 備品購入費	60,000	60,000	30,000	0	小型スピーカー
補助対象外経費					
8 報償費	100,000			100,000	イベント参加者謝礼
11 消耗品費	100,000			100,000	看板、横断幕、イベント景品等
11 印刷製本費	6,000			6,000	買い物ツアー印刷代
11 食糧費	40,000			40,000	来客用茶菓子、会場準備
12 保険料	5,000			5,000	買い物ツアー行事保険代
13 委託料	220,000			220,000	会場ステージ、配電、警備等
14 使用料及び賃借料	50,000			50,000	照明器具レンタル料等
計	900,000	348,000	174,000	552,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	東大芦地区アイデア会議事業
事業主体の名称	東大芦地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	会長 寄川良一
事業主体の所在	鹿沼市上日向375番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:コミュニティの在り方についての調査研究とコミュニティづくりに対する整備計画、施設の運営について地域住民の意思を反映し、住民の自主的参加を促進するとともに、コミュニティ組織活動の連絡連携を促進することを目的とする。</li> <li>・設立年月日:昭和52年3月30日</li> <li>・構成員等:東大芦地区住民 3,100名(H28.4.1現在) 役員(会長1名、副会長3名、会計1名、理事若干名、監事2名)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>東大芦地区は、鹿沼市の中央に位置し、大芦川が地域を潤し、県道鹿沼・日光線や県道石裂・上日向線が交通の根幹をなしている。環境特性は、里地自然環境に属し、人口改変度は比較的少ない自然に恵まれた地域である。お囃子の伝統芸能が各地域で継承されている。</p> <p>しかし、少子高齢化、核家族化が進行し、地域のコミュニティのつながりが希薄になるとともに、地域の魅力に気づかない住民も増加してきている。地区内の活性化を図るためにも、地区内外への地域の魅力をアピールする必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民が一体となってイベントを開催することにより、地区住民の融和及びコミュニティ意識の高揚を図る。</li> <li>・地元住民による東大芦地区のすばらしさの再認識</li> <li>・地元食材を使用したグルメコンテストや地区内ウォーキングを行う事により、地区外にも東大芦地区をPRし、将来的に誘客増を見込む。</li> </ul>
事業概要	<p>H28 ふれあいフェスタin出合いの森 イベント開催 開催日:平成28年10月23日(日) 会場:出合いの森総合公園 (内容) ○ステージイベント(さつきドリーマーズ、プレクシー等による演出、地域伝統文化(お囃子)の競演、消防団パフォーマンス等) ○模擬店(やきそば等の一般的なもののほか、地域の特色を生かしたもの(深岩石で焼いたピザ等) ○グルメコンテスト(3部門 わが家の自慢料理①主食 ②副食 ③スイーツ) ○地区内ウォーキング(3コース) ○パネル展示等、自治会活動の周知による自治会加入の促進 ○特に、イベント全体に地域特有の産物・風習等を取り入れ、特徴を出すことで、来場者に地域の魅力をアピールする。 ○また、継続的に実施することで、コミュニティ間の交流を促進するとともに、コミュニティのつながりを強化していく。 ○PRについては、広報かぬま、週刊鹿沼、月刊鹿沼、その他ラジオ等のメディアを利用する。 広報かぬま、月刊、週刊鹿沼は市内の他、交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等に送付されており、交流人口の拡大に繋げられる。</p> <p>H29.30 ふれあいフェスタin出合いの森 イベント開催 開催日:未定 会場:出合いの森総合公園</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち 【KPI】地域の力支援事業:6件 自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年) 交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31年)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	「東大芦ふれあいフェスタin出合いの森」の開催	「東大芦ふれあいフェスタin出合いの森」の開催	「東大芦ふれあいフェスタin出合いの森」の開催		「東大芦ふれあいフェスタin出合いの森」の開催
事業費	1,600,000	800,000	800,000	3,200,000	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	600,000	0	0	600,000	0
うち県交付金	300,000	0	0	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,000,000	800,000	800,000	2,600,000	800,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町村名	鹿沼市
------	-----

単位事業名	東大芦地区アイデア会議事業
-------	---------------

対象年度	28
------	----

年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	600,000	県補助金(300,000) 市補助金(300,000)
自主財源	1,000,000	東大芦地区コミュニティ推進協議会600,000円 協賛者400,000円
計	1,600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町村支出額		自主財源等	
		市	町		
8 報償費	425,000	0	0	425,000	出演者謝礼 120,000円 カヌマン(50,000)、くぐつ(10,000)、フレクシー(10,000)、 さつきドリーマーズ(20,000)、バルーンアート(15,000)、 米山(15,000) 借用物品謝礼(カレー協力者・ピザ窯) 50,000円 抽選会等賞品(抽選会賞品(200,000)、ふれあい広場(25,000)、グルコン賞品 (20,000)) 200,000円 グルメコンテスト商品 20,000円 協賛者へのお礼タオル500円×70社=35,000円
11 消耗品費	165,000	100,000	50,000	65,000	色上質紙、器、わりばし、ボール等
11 印刷製本費	120,000	100,000	50,000	20,000	チラシ 2,500枚×@27円 =67,500円 ポスター200枚×@230円 =46,000円
11 食糧費	250,000	0	0	250,000	係員弁当、飲み物、出演者食券
11 賄材料費	50,000	0	0	50,000	グルメコンテスト材料費、ウォークとん汁
12 損害保険料	20,000	20,000	10,000	0	傷害・係員・来場者保険
12 通信運搬費	30,000	30,000	15,000	0	郵便料金
12 支払手数料	30,000	30,000	15,000	0	横断幕クリーニング ジャンパークリーニング
12 広告料	16,000	0	0	16,000	新聞・広告料・PR車
13 委託料	150,000	150,000	75,000	0	交通警備員@14,500円×4人 =58,000円 夜間警備員@24,000円×1人 =24,000円 フェスタ看板作製委託料68,000円
14 使用料及び賃借料	300,000	150,000	75,000	150,000	仮設トイレ@14,250×4基=57,000円 音響借上げ 80,000円 発電機借上げ16,000円 バス借り上げ代80,000円 ガス使用料12,000円 ダスキン使用料 50,000円 回転釜 5,000円
18 備品購入費	44,000	20,000	10,000	24,000	簡易テント 40,000円 以下補助対象外 ブルーシート 4,000円
計	1,600,000	600,000	300,000	1,000,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	かぬまぐらしのガイド多言語動画作成事業
事業主体の名称	まるごと日本語教室
代表者の名称	谷澤 享司
事業主体の所在	鹿沼市下横町1302番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:鹿沼市国際交流協会と連携し、外国籍市民に対して生活していく上で必要な日本語を教える。</li> <li>・設立年月日:平成28年4月1日団体発足(従前は市国際交流協会の日本語教室として週1回開催)</li> <li>・構成員等:運営ボランティア15人</li> <li>・主な活動:毎週木曜日の夜に、鹿沼市在住の外国籍市民(主にベトナム、中国、ポリビア、アメリカ人など)に対し、鹿沼市で生活していく上で必要な日本語の教室を開催。教室において外国籍市民からの日常の相談なども受けている。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市在住の外国籍市民は約1,000人と、人口の約0.1%を占めている。帰化市民を合わせると相当数の市民が外国出身者となり、地区によっては、その割合はさらに高いものとなっている。</li> <li>・外国籍市民や帰化市民等と地域住民の間で生活習慣や言語、制度の違いがみられ、地域コミュニティに溶け込みづらく、コミュニティ参加への障害となっている。</li> <li>・「ぐらしのガイド」等、生活に関する冊子で多言語となっているものはあるが、情報が限定的で、文字情報だけでは内容を具体的に想像できない場合がある。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿沼市で生活していく上で必要な情報を外国籍市民にもわかりやすい動画で紹介することで、鹿沼市での生活に早くなじみ、自治会等の地域コミュニティに溶け込むようになること。</li> <li>・また事業のなかで、外国籍市民に自治会参加を働きかけることで、自治会加入率を改善する。</li> <li>・さまざまな人が住みやすいまちづくりによる交流・流入人口増加を狙う。</li> <li>・動画作成を通して外国籍市民にも活躍の場を提供し、地域の新たなリーダーを育成する。</li> </ul>
事業概要	<p>H28</p> <p>①動画作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍市民や帰化市民等が生活していく上で必要な情報(日常生活、防災、保険・年金・税金、病院のかかり方など)を紹介する多言語による動画を製作する。また、自治会加入の勧奨、メリットのアピールをすることで、自治会加入を促進する。</li> <li>・動画は鹿沼ケーブルテレビと協力し撮影・編集する。内容やキャストについて市や国際交流協会と協力しながら事業を行う。</li> <li>・市内の生活様式、方法、コミュニティの形成等を学ぶことで、コミュニティへの参加を促し、積極的にかかわることで、その中からリーダーとなりえる人材の育成につなげる。</li> </ul> <p>②ホームページ上での公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画は市や国際交流協会のHPで公開。バーコードリーダーで読み取り、スマートフォン・タブレット等各种情報端末からでも見られるようにする。</li> <li>・地域コミュニティへの参画・活躍の場を確保するため、日本語教室への参加を促進する。</li> </ul> <p>H29</p> <p>①動画作成</p> <p>②ホームページ上での公開</p> <p>H30</p> <p>①ホームページ上での公開</p> <p>(動画は必要に応じてリニューアル、情報を有効活用することで、外国籍市民がコミュニティに参画しやすくすることに重点を置く。)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件、</p> <p>自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年)</p> <p>交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①動画撮影・編集 ②ホームページ上での公開	①動画撮影・編集 ②ホームページ上での公開	②ホームページ上での公開		②ホームページ上での公開
事業費	280,000	150,000	30,000	460,000	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	250,000	0	0	250,000	0
うち県交付金	125,000	0	0	125,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	30,000	150,000	30,000	210,000	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
連絡先 FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	かぬまぐらしのガイド多言語動画作成事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	250,000	内県費125,000円
自己資金	30,000	市国際交流協会からの負担金
計	280,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
12 筆耕翻訳料	80,000	50,000	25,000	30,000	翻訳料4カ国後×5,000円×4本
13 委託料	200,000	200,000	100,000	0	動画撮影・編集50,000円×4本
計	280,000	250,000	125,000	30,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	誰もが活いき！支えあい推進事業
事業主体の名称	活いききこっとな村
代表者の名称	上本 真澄
事業主体の所在	鹿沼市千渡1949-64
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:社会貢献に興味を持つ人達のネットワーク作りを通じて、より良い地域社会作りに関する活動を行うことにより、地域の発展と福祉・教育・環境の向上に寄与する。</li> <li>・設立年月日:平成28年4月1日発足</li> <li>・構成員等:運営会員9人</li> <li>・主な活動:野菜栽培、綿花栽培等営農事業、オーガニックコットンの商品化、販売、地域学童の情操支援、その他社会貢献及び地域社会作りが必要とされる事業。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>当該地区(鹿沼市千渡)では、人口約5400人、2000世帯が暮らしており、新興住宅が増え人口増加の傾向にある。しかしながら、少子高齢化、核家族化等ライフスタイルが多様化し、地域との関係を持たない人が増えるなど、コミュニティのつながりが希薄になる傾向があり、各種制度では拾いきれないニーズや人(制度の谷間)に対し、地域の住民同士が支え合う仕組みを作る必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献に興味を持つ人達のネットワーク作りを通じて、より良い地域社会作りに関する活動を行うことにより、地域の発展と福祉・教育・環境の向上に寄与することを目的とする。</li> <li>・耕作放棄地における営農を通して、地域の元気な高齢者や障がいをもつ人、引きこもりがちな人などを巻き込むことで、誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができる社会作りを目指す。</li> </ul>
事業概要	<p>H28</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①耕作放棄地にて畑作、営農を行う</li> <li>②耕作放棄地にて綿花栽培、営農を行う</li> <li>③綿花栽培によって得られた綿を利用した商品化及びその販売を行う。</li> <li>④上記事業を通じて、各種学童の学びの機会、社会的な教育の場とする。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に自治会等地域コミュニティ関係者等を巻き込み、地域コミュニティの理解・参加・協力を促すことで、社会貢献に興味を持つ人達のネットワーク作りをするとともに、地域の元気な高齢者や障害者、引きこもりの人等の情報把握等に活用し、事業参加者のネットワーク拡大への好循環につなげていく。</li> <li>・特にターゲットとなる引きこもりの人々を地域で支え、コミュニティに溶け込ませるためには、自治会等地域コミュニティ関係者の協力が不可欠であり、民生委員、学校、自治会等と協力し、引きこもりの人々の情報提供を受けるなど、個々の対話・面談等による巻き込みを想定する。</li> <li>・農業は引きこもりのひとが社会復帰するための第一歩の手段であり、そういった人々がゆくゆくはコミュニティに参画、自治会への加入を期待する。</li> <li>・作物を生産し、製品化していく過程や就労体験を通しての他人との触れ合いを通して社会的な教育を行う。(学童の情操支援)</li> <li>・コミュニティ内の耕作放棄地の所有者から、土地を借りる等し、利用することで、耕作放棄地対策にも繋げる。</li> <li>・地域の特性を活かした環境整備を進め、住民の満足度を向上させ、交流・定住人口増加に繋げる。</li> </ul> <p>H29.30</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①耕作放棄地にて畑作、営農を行う</li> <li>②耕作放棄地にて綿花栽培、営農を行う</li> <li>③綿花栽培によって得られた綿を利用した商品化及びその販売を行う。</li> <li>④上記事業を通じて、各種学童の学びの機会、社会的な教育の場とする。</li> </ol>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件</p> <p>自治会加入率:79.2%(H26年) → 80%(H31年)</p> <p>交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31年)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①野菜栽培と営農事業 ②綿花栽培と営農事業 ③オーガニックコットンの商品化、販売 ④学童の情操支援	①野菜栽培と営農事業 ②綿花栽培と営農事業 ③オーガニックコットンの商品化、販売 ④学童の情操支援	①野菜栽培と営農事業 ②綿花栽培と営農事業 ③オーガニックコットンの商品化、販売 ④学童の情操支援		①野菜栽培と営農事業 ②綿花栽培と営農事業 ③オーガニックコットンの商品化、販売 ④学童の情操支援
事業費	260,000	200,000	200,000	660,000	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	250,000	0	0	250,000	0
うち県交付金	125,000	0	0	125,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	10,000	200,000	200,000	410,000	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	誰もが生きいき！支えあい推進事業	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	250,000	内県費125,000円
自己資金	10,000	参加費収入・バザー収入
計	260,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
8 報償費	100,000	100,000	50,000	0	協力者謝礼(農業講師等)
11 消耗品費	138,000	128,000	64,000	10,000	種 2000粒 30千円 苗 300株 60千円 器具 支柱、石灰、肥料等 48千円
12 通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	切手、ハガキ代
14 使用料及び賃借料	12,000	12,000	6,000	0	会議等会場使用料
計	260,000	250,000	125,000	10,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市 町 名	鹿沼市
事 業 名	ZOMArket開催事業
事業主体の名称	ZOMArket
代表者の名称	福田 大樹
事業主体の所在	鹿沼市西沢町243
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 運営を通じて近隣地域のこだわりを持った生産者、個人事業者を応援し、地域経済を活性化させるとともに、コミュニティに拠り所を提供する。</li> <li>・設立年月日: 平成28年2月29日発足</li> <li>・構成員等: 事務局2人、参加団体18団体</li> <li>・主な活動: 生産者と消費者が直接対話できるマーケットを、地元の鹿沼運動公園で開催する。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地域は、里山農村地域で、豊富な水源と豊かな土壌により、質の高い農作物が生産されている。しかし、農産物等の生産者と消費者の顔が見える関係ができておらず、地元である南摩地区の特徴・特産物を知らない人も多く、地産地消の意識が低い。地域経済がうまく循環していない。</li> <li>・本市の魅力ある産業を更に振興するため、農工商連携だけでなく、生産者が消費者に直接PRできる場づくりが必要となっている。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケット運営を通じて近隣地域のこだわりをもった生産者、個人事業者を応援し、地域経済を活性化させるとともに、コミュニティに拠り所を提供する。また、南摩にひとつでも多くの良質なつながりや気づきが生まれる事を期待する。</li> </ul>
事業概要	<p>H28</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者と消費者が直接対話でき、農産物、加工品、クラフト、飲食物、物販、体験などを提供するマーケットを、地元の鹿沼運動公園で開催する。(4、5、6、7、8、9、10、11月の各最終日曜日 計8回)</li> <li>・マーケット出展者は、近隣地域において無農薬、有機、自然栽培等環境に配慮した農業を実践する生産者、地域への想いやこだわりを持って営農を実践する生産者、それらの作物を扱う加工業、飲食業者、地域の人々の暮らしを豊かにするための提案をしてくれる物販業者等とする。</li> <li>・マーケットを重ねることで、消費者のニーズをくみ取り、生産者による新製品の開発や販路開拓、基盤整備に繋げ、更なる地場産業の振興を図る。</li> <li>・さらに、地区外へPRを行い、地区外からの参加者を募ることで、当該地域の知名度を向上させ、交流人口の拡大を図ると共に、自立性の向上に努める</li> <li>・PRIについては、広報かぬま、週刊鹿沼、月刊鹿沼、その他ラジオ等メディア利用等でPRを図る。広報かぬま、月刊、週刊鹿沼は市内の他、交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等に送付されている。これらによって交流人口の増加を図る。</li> </ul> <p>H29、30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者と消費者が直接対話できるマーケットを、地元の鹿沼運動公園で開催する。(4、5、6、7、8、9、10、11月の各最終日曜日 計8回)</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域の力支援事業: 6件 交流人口: 331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	マーケット開催事業	マーケット開催事業	マーケット開催事業		マーケット開催事業
事業費	330,000	200,000	200,000	730,000	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	150,000	0	0	150,000	0
うち県交付金	75,000	0	0	75,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	180,000	200,000	200,000	580,000	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ZOMarket開催事業	
対象年度	28	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	150,000	内県費75,000円
自己資金	180,000	出店料(10,000円×8回)、自己資金
計	330,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
8 報償費	50,000	0	0	50,000	協力者謝礼
11 消耗品費	56,000	0	0	56,000	消火器、横断幕等消耗品
11 印刷製本費	52,000	23,000	11,500	29,000	フライヤー印刷4回分
14 使用料及び賃借料	27,000	27,000	13,500	0	会場使用料
18 備品購入費	145,000	100,000	50,000	45,000	テーブル、イス、テント
計	330,000	150,000	75,000	180,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	地域デビューのためのママ講座
事業主体の名称	鹿沼市社会教育オピニオンリーダーせせらぎ会
代表者の名称	佐々木 澄江
事業主体の所在	鹿沼市西茂呂3-38-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:家庭教育オピニオンリーダー研修者としての資質向上と、家庭や地域等の教育力の向上に貢献することを目的とする。</li> <li>・設立年月日:平成4年6月3日</li> <li>・構成員等:会員12人</li> <li>・主な活動:子育てに関するカウンセリング講座や即興劇、家庭教育講演会、子育てゼミナールの企画、運営などの活動をしている。鹿沼市の家庭教育がせせらぎの流れのように、いつも変わらぬ平穏な家庭を築けるように活動している。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>子育て中の母親は外に出る機会が少なくなり、地域コミュニティとの関係が希薄化しており、子育て後に地域や社会に復帰することが難しいので、子育て中から、地域や社会とのつながりの場を作る必要がある。</p> <p>本市には、経験豊富な職員が子育て相談に乗り、有益な子育て情報を提供している子育て支援センターがあるが、利用者の伸び悩みなど、その機能を活かしきれていない。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりへ参加しやすくするためのコミュニケーションづくり。ものづくりで友達を作るきっかけづくり、いろいろなイベントに参加できるようにする。それによって子育て中、子育て後に地域や社会に復帰しやすくする。</li> <li>・必要に応じて子育て支援センターの利用を促すことで、子育て支援センターの更なる活性化、地域社会で子育てを行える環境整備を進め、子育て世代が住みやすい地域として交流人口・定住人口の増加に繋げる。</li> </ul>
事業概要	<p>H28 各種ワークショップの開催(乳幼児の子育て中の保護者を対象に講座を開設。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活の役に立ち、楽しく地域を知ってもらう講座。</li> <li>・小さい時から食の大切さを知ってもらうおやつ作り、おもちゃ作り等</li> <li>・子育て支援センターに関する情報提供、出張相談</li> </ul> <p>H29,30 各種ワークショップの継続</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】豊かな心を育て、生涯安心して暮らせるまち</p> <p>【KPI】地域のカ支援事業:6件 子育て支援センター延べ利用人数: H27年:16,034人/年 H31年:125,000人(年間延べ25,000人×5年) 交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	各ワークショップの開催	各ワークショップの開催	各ワークショップの開催		各ワークショップの開催
事業費	180,000	30,000	30,000	240,000	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	150,000	0	0	150,000	0
うち県交付金	75,000	0	0	75,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	30,000	30,000	30,000	90,000	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimizu@city.kanuma.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域デビューのためのママ講座	
対象年度	28	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	150,000	内県費75,000円
自己資金	30,000	参加費等
計	180,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
8 報償費	116,000	116,000	58,000	0	講師、協力者謝礼
11 消耗品費	43,000	18,000	9,000	25,000	制作物材料費
11 印刷製本費	10,000	10,000	5,000	0	チラシ・資料印刷代
12 保険料	5,000	0	0	5,000	傷害保険料
14 使用料及び賃借料	6,000	6,000	3,000	0	会場使用料
計	180,000	150,000	75,000	30,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

**栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)**  
【単独事業】

市 町 名	鹿沼市
事 業 名	鹿沼秋祭り・鹿沼城研究とまちづくり
事業主体の名称	栃木県建築士会鹿沼支部
代表者の名称	石川 昭男
事業主体の所在	鹿沼市貝島町611-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:建築士会は、建築士法第22条の2 に基づき、全国各都道府県に設置された公益法人です。建築士のためのコミュニティ。</li> <li>・設立年月日:平成27年3月3日</li> <li>・構成員等:支部長以下役員29人</li> <li>・主な活動:建築士の資質の向上を目指し、研修や講習を開催している。また、まちづくりや景観を守る活動や防災・防犯対策等、建築・まちづくり行政との連携活動。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国武将と歴史ブームのなか、歴史に興味のある人々が各地の城郭や城址を訪れている。しかし、鹿沼市では壬生氏が治めていた城があるにもかかわらず、城郭や館の資料が体系化されていない等、観光誘客や郷土を知るための地域資源として利用されていない。</li> <li>・これらを後世に伝えるとともに、鹿沼城の認知度を上げ、観光誘客に繋がる地域資源として活用されるには、市内外にPRする場や仕組みづくりが必要である。</li> </ul>
事業目的	・謎に満ちた鹿沼城の図面や立体映像などの復元を行うことにより鹿沼の良さを発掘し、市民が新たな自慢とできるようにし、観光客の増加を図る。
事業概要	<p>H28</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①1～2か月毎に研修会議を開き、情報収集・研究を進める。また、講師を招いて研修会、他自治体への見学会を積極的に行う。</li> <li>②報告書、図面、ジオラマ等の制作など成果品の製作。</li> <li>③観光客増加に繋げるため、パンフレットを作成し、友好都市等に配布するなど、PR活動を実施する。</li> </ul> <p>・PRIについては、パンフレットができ次第、広報かぬま、週刊鹿沼、月刊鹿沼等でPRを図る。広報かぬま、月刊、週刊鹿沼は市内の他、交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等に送付されている。これらによって交流人口の増加を図る。</p> <p>H29.30</p> <p>製作した資料等を活用し、パンフレットの配布及びジオラマ等の見学会を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】みんなで支え合う地域コミュニティづくり</p> <p>【KPI】地域の力支援事業:6件 交流人口:331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①研修、情報収集、見学会の実施 ②、③報告書、パンフレット等の制作	①見学会の実施 ②、③パンフレット等配布	①見学会の実施 ②、③パンフレット等配布		①見学会の実施 ②、③パンフレット等配布
事業費	355,000	50,000	50,000	455,000	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	200,000	0	0	200,000	0
うち県交付金	100,000	0	0	100,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	155,000	50,000	50,000	255,000	50,000

## 市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民部地域活動支援課
担当者名	清水
電話	0289-63-2240
FAX	0289-60-1001
E-mail	nshimiz@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	鹿沼秋祭り・鹿沼城研究とまちづくり	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	200,000	内県費100,000円
自己資金	155,000	建築士会持ち出し
計	355,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
8 報償費	50,000	50,000	25,000	0	講師謝礼(10,000円×5回)
11 消耗品費	80,000	80,000	40,000	0	消耗品、模型材料費
11 印刷製本費	40,000	40,000	20,000	0	資料・成果品印刷費
12 通信運搬費	15,000	15,000	7,500	0	ハガキ、切手代
14 使用料及び賃借料	170,000	15,000	7,500	155,000	バス借上げ代(75,000円×2回)、会議室使用料(2,000円×10回)
計	355,000	200,000	100,000	155,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	鹿沼秋まつり事業
事業主体の名称	鹿沼秋まつり実行委員会
代表者の名称	委員長 佐川 徹三
事業主体の所在	鹿沼市今宮町1688-1(鹿沼市観光交流課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的: 鹿沼秋まつりを主催することで、賑わいのあるまちづくりを推進し、鹿沼の経済活性化、観光の振興、ひとづくり及び地域振興につなげることに。</li> <li>設立年月日: 平成15年7月18日</li> <li>構成員等: 中心市街地の住民が主な構成員となり、市、鹿沼商工会議所、自治会連合会、教育委員会、観光物産協会、鹿沼そば振興会、祭囃子保存会等の関係団体が参加。鹿沼いまみや付け祭り保存会と組織を一部共有している。</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」は、華麗な彫刻で飾られた囃子屋台が巡行するもので、全国的に比較しても貴重な行事であることから、平成15年に国の重要無形民俗文化財に指定されるとともに、今年度ユネスコ無形文化遺産登録が見込まれている。</li> <li>しかしながら、彫刻屋台を所有する町の一部では、高齢化の進行や若年層の流出により、コミュニティー意識の希薄化が懸念されるとともに、屋台の曳き出しや管理など、伝統行事を維持していくことが困難な状況にある。</li> <li>全国・世界に誇れる祭りとして、さらにアピールし、後継者の確保を図る必要がある。</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>祭りの本体の充実を図り、知名度を向上させ、市全体が一体となる祭りを確立する。</li> <li>鹿沼いまみや付け祭り保存会との協働による円滑な運営を図るとともに、協賛金を含めた資金の拡充を図り、自立性を高める。</li> </ul>
事業概要	<p>H28</p> <p>①鹿沼今宮神社祭の屋台行事の実施 ②市民まつりの開催(市民パレード、屋台揃い曳き、スタンプラリー等) ※今年、本祭はユネスコ登録が予定されることから、初めてスタンプラリーを開催し、市内の周遊を促進し、更なる交流人口を増加させる。 ※交流人口増加のため、祭りのガイドブックができ次第、広報かめま、週刊鹿沼、月刊鹿沼等でPRを図る。広報かめま、月刊、週刊鹿沼は市内の他、交流都市(足立区、墨田区、台東区、春日部市)等に送付される。</p> <p>【加速化交付金との事業の違い】 ※加速化交付金: 那須烏山市との広域連携事業として、本事業で行う祭り本体とは別の組織(協議会)で実施する。祭りを首都圏にPRすることで、交流人口の増加を図ることを目的としている。特に、本祭以外の事業として、組織を分け、祭りの情報をきっかけとして新たな人の流れを構築することを目的としている。 具体的な事業としては、都内における本市の観光プロモーション、那須烏山とコラボ商品開発、文化圏を共通とした観光(船・そば・和紙・木工彫刻)ツアーの実施など。 ※本事業: 祭り本体を充実させ、来場者へ直接まちの魅力をPRすることで、祭りの持続的な実施と発展を目標とする。そのために、祭りを実施していない地域も巻き込み、市全体が一体となる祭りの確立を目指し、「市民祭り」を実施する。</p> <p>H29、30</p> <p>①鹿沼今宮神社祭の屋台行事の実施 ②市民まつりの開催(市民パレード、屋台揃い曳き等)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標: 地域資源を活用した交流と移住・定住の促進 KPI: 交流人口: 331万人(H26年) → 450万人(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①鹿沼今宮神社祭の屋台行事 ②市民まつり(市民パレード、屋台揃い曳き、スタンプラリー等)	①鹿沼今宮神社祭の屋台行事 ②市民まつり(市民パレード、屋台揃い曳き等)	①鹿沼今宮神社祭の屋台行事 ③市民まつり(市民パレード、屋台揃い曳き等)		①鹿沼今宮神社祭の屋台行事 ②市民まつり(市民パレード、屋台揃い曳き等)
事業費	16,750,000	13,000,000	13,000,000	42,750,000	13,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	6,570,000	3,000,000	3,000,000	12,570,000	3,000,000
うち県交付金	3,000,000			3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	10,180,000	10,000,000	10,000,000	30,180,000	10,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部企画課
担当者名	山本 和弘
電話	0289-63-2146
連絡先 FAX	0289-63-2247
E-mail	kyamamoto@city.kanuma.lg.jp



## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	鹿沼秋まつり事業	
対象年度	28	年度
1 収入の部		
科目	予算額 (精算額)	備考
協賛金	8,500,000	自治会、一般企業約350社等
補助金	6,570,000	うち県費3,000,000
出店料	1,200,000	新鹿沼宿 @35,000円×30コマ まちなか交流プラザ @30,000円×5コマ
雑収入	480,000	グッズ販売等
計	16,750,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
8 報償費	600,000	300,000	150,000	300,000	会議委員謝礼 90千円 お囃子団体 180千円 市民参加団体 190千円 ボランティア等 140千円
11 消耗品費	1,400,000	700,000	350,000	700,000	配布用グッズ 750千円 当日準備品 150千円 スタンプラリー景品 500千円
11 食糧費	450,000			450,000	以下補助対象外 弁当代、飲み物等 450千円
11 印刷製本費	2,000,000	1,000,000	500,000	1,000,000	PR用ポスター 400千円 ガイドブック等 1,600千円
12 通信運搬費	200,000			200,000	以下補助対象外 各種通知等発送 100千円 切手代 50千円 仮設電話 50千円
12 広告料	2,000,000	500,000	250,000	1,500,000	市内PR用看板作製 1,000千円 以下補助対象外 扇子、PRグッズ作成 1,000千円
13 委託料	6,500,000	2,570,000	1,000,000	3,930,000	やぐら提灯設置 1,500千円 祭り警備 1,700千円 HP作成・管理 140千円 電灯設置工事 1,000千円 シャトルバス 800千円 以下補助対象外 花火 1,000千円 ごみ処理 260千円 半纏クリーニング 100千円
14 使用料及び賃借料	3,500,000	1,500,000	750,000	2,000,000	テント、仮設トイレ 3,000千円 以下補助対象外 サーバ使用料等 100千円 道路使用料 50千円 会議等使用料 100千円 ごみ箱等借用 250千円
18 備品購入費	100,000			100,000	以下補助対象外 誘導棒等 50千円 ボランティアTシャツ 50千円
計	16,750,000	6,570,000	3,000,000	10,180,000	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合